

次年度要望アンケート

アンケート集約（4/25 時点、FAX）

回答者：小澤、杉浦、小山(boy82)、付岡、中島(boy8)、宮腰（手話サークル）、
一政（フォーラムアソシエ）、小原（girl21）、半田（手話サークル）

1. こんなことをしてみたい
 - (ア) 区役所との連携をもっと密にしていきたい。定例会に 20 分でも良いので参加いただければ。例えば可能な時間が事前に分かれば関連議題をそこで集中して討議できるかと
 - (イ) 災害時における、ボラセンの場所確保の協定（横浜アリーナ、日産スタジアム、京王大学等、ボランティアが宿泊できる場所含め）、用具の協定（オリンピック等のホームセンター）
 - (ウ) 活動自粛期間終了後にあらためて検討してはどうか
 - (エ) 会員の団体などの活動への参加体験
 - (オ) 総会時に研修講演会
 - (カ) 防災、減災について法人の所在地（生活クラブオルタナティブ生活館）で防災訓練など連携をしてみたい
 - (キ) 災害を想定しながらの町歩き体験
 - (ク) 聴覚障害者のみならず様々な障害を持っている方たちが、災害に遭遇した時にどのような対応が出来たのかが知りたい（必ず来襲する台風や地震災害に対して）障害を抱えている人達に対し災害ボランティア連絡会の中で「そのメンバーは何が出来るのか？」をメンバーの皆さんと考えてみたい。但しこのことは難しいと思う（個人情報など）
2. こんな事をやって欲しい
 - (ア) 毎月必ずどこかの団体、個人会員が担当した 5 分間講座
 - ① 例) 「どろっぷ」の子供向け地震対応策
 - ② 例) ボーイスカウトやガールスカウトの災害時に役立つ豆知識
 - (イ) 定例会の夜の Web 会議開催
 - (ウ) WEB 会議の開催
 - (エ) 会員の災ボラ以外の活動、本来の活動の紹介
 - (オ) 定例会時に報告事項だけでなくつぎのようなことができればいい
 - ① ハンドブック読み合わせ

- ② 防災ゲームなどの擬似体験
 - ③ 災害時のビデオをみて「いざ」を考える
 - ④ 災害手話
- (カ) 役員以外に担当者を決める
- ① 備品管理
 - ② 物販 (年間計画、発注、広報活動)
- (キ) 正会員以外に「いざの時」に参加できる登録ボランティアを募集する (どのように登録するかは検討が必要)
- (ク) 防災拠点運営委員対象の出前講習 (定型のレジメを作成しての災ボラ開設と運営)
- (ケ) ニュースに連絡会の活動内容を知らせるコーナーを作る
- ① セミナーの様子・内容
 - ② 研修会の様子・内容
 - ③ シミュレーションの様子・内容
- (コ) 定例会・役員会の議事録をニュースまたはHPに掲載
- (サ) 防災に関する学習 (復興期のり度など)
- (シ) 昨年起きた川崎の浸水被害のことを詳しく知りたい
3. 自分はこんなことができる (できそう)
- (ア) 港北区内の地図はなんとかわかるかも
 - (イ) Web 会議の際の開催準備
 - (ウ) 特になし
 - (エ) ボーイスカウトスキルの紹介 (ロープワーク、手旗 など)
4. 仕事などで定例会には参加できないが、こんな形ならできる
- (ア) 掲示板やオンライン会議などができたら。ただしサークルスクエアに登録していない方の参加をどうするか。
 - (イ) IT化の意見出し (会員のITインフラやリテラシーも必要となりますが)
 - (ウ) WEB 会議なら参加可能
 - (エ) Zoom は体験しましたが、使いやすかったです
 - (オ) シミュレーション訓練には参加したい
 - (カ) 参加団体の理事会曜日が変わったので、定例会への参加が増えそう
 - (キ) 物販販売・広報活動に参加